

人口と世帯	人口……283,500人	(+ 273)
	男 ……138,675人	(+ 162)
	女 ……144,825人	(+ 111)
	世帯…… 93,487世帯	(+ 275)
	—平成元年5月末日現在— ()内は前月との比較	

発行・前橋市役所 〒371 前橋市大手町二丁目12-1・電話24-1111(大代表)／編集・企画部広報課／毎月1日・15日



大好き前橋
 マイガシ

伝統受け継ぐ新校舎

本市で一番東にある大室小。校舎が新しくなりました。外観がとも二ノク、特にかわらを使った屋根が目立ちます。全体として昔をしのばせるような「養蚕農家風」にデザインされ、周辺の農村風景ともよく調和しています。また、正面玄関には特徴のあつた旧校舎のイメージが取り入れられており、「歴史と伝統」にも気を配った建物になりました。個性のある新校舎の誕生——子供たちは今日も元氣いっぱいです。

メモ 昭和2年に建てられた旧校舎は、県内初の鉄筋コンクリート造りで、特徴のある建物だった。新校舎の設計に生かされたほか、その正面玄関ポーチが校庭の東側に保存された。

○として保存してください いつかまた お役にたちます ○

ピックアップ

- 盛ん`町の新聞、づくり…2・3
- ▷10周年迎えた市民活動協…4
 - ▷市街化全域が監視区域に…5
 - ▷イベント誘致で活性化を…6
 - ▷母親卓球やソフトボール…6
 - ▷「学びのつとめ」を職場で…7
 - ▷暴走運転・みんなで追放…8
 - ▷7月の日曜当番医ご案内…9
 - ▷周辺商店街協の目崎さん…10



マスコットのナナちゃん
 お問い合わせは七夕まつり
 実施委員会(商業観光課)内
 線3603または商工会議所
 ☎(34)5111へ。

涼風を誘う七夕まつり

7月6日～9日

ルでお出かけください。
 本市の七夕まつりは古い歴史を持ち、今や名実ともに関東一を誇ります。豪華けんらんな竹飾りや飾り物で商店や商店街が競い合い、通りに所狭しと並びます。また、祭りを盛り上げるため各種イベントも催されます。
 期間中は中心街が車両通行止めとなつて、歩行者天国になります。車を運転する人は注意してください。
 「無料おまつりバス」を七月九日(日)、競輪場駐車場から中心商店街まで運行します。なお、市役所の駐車場を八日(土)と九日(日)に開放します。



色彩豊かな飾り物が街を演出します

「出逢いとときめき浪漫詩部(ロマンチックシティー)」をキャッチフレーズに、七夕まつりが開催されます。今年で三十九回目。本市の三大まつりの一つとして、七月六日(木)から九日(日)までの四日間、前橋の街を彩ります。ご家族連れやカップ

「町の新聞」

ミニコミ紙づくり

学びの
ページ
11

生涯学習推進に大きな役割

「毎号連載の『町の歴史散歩』いつも楽しみにしています」という読者の声。「毎年、春の決まった時期の朝、あの木からウグイスの声を……」などのほのぼのとしたニュース。――

「自治会報」「公民館だより」「生涯学習ニュース」などの町の広報紙が今、各地で盛んに発行され、多くの市民に親しまれています。

生涯学習に欠くことのできないのが情報だといわれています。この「町のミニコミ紙」こそ生涯学習をより身近なものにし、充

生涯学習充実 にかつこうの 情報メディア

実、発展させるかつこうの情報メディアであるといえましょう。

50自治会で発 行され人気の タウン情報紙

うな「町の新聞」が各地で定期発行されるようになったのも、奨励員など町の生涯学習関係者が大きな推進力となっているといえます。

更に、市の十一地区公民館からはそれぞれ「公民館だより」が十一紙、六万九千部が毎月発行されています。



相次ぎ創刊される手づくりの情報紙

「新緑に思う」
子供が成人した後、暮らした地域になんの思い出もないのは寂しい限りです。自分の地域に誇りうる何か特色のある団地にしたいものです。（略）別名「前橋の田園調布」といわれている当団地のその名に恥じないようにならねばなりません。

【広報ふれあいから】
いよいよ努力したいものです。ヘリポート、北関東自動車道の建設など、町の周辺が大きく変わろうとしています。このような変化に合う「第二の田園調布」といわれるような下川団地にしようではありませんか。（下川町・小野沢貞夫）

あなたの町の 奨励員

（3面へ続く）

- 本庁管内
岩神町二丁目 丸山泰正 岩神町三丁目 金井光代 緑が丘町 布施久雄 昭和町一丁目 柴崎保二 国領町一丁目 菅谷正之 国領町二丁目 望月正利 住吉町二丁目 北村三郎 若宮町三丁目 吉田弘 日吉町二丁目 田畑萬吉 城東町一丁目 柴崎初太 城東町二丁目 梅澤謙次郎 城東町五丁目 坂本満喜 大手町一丁目 横田文夫 紅雲町二丁目 時澤勇 千代田町二丁目 杉村清一 千代田町四丁目 萩原君彦 千代田町五丁目 金澤芳夫
- 下川地区
公田町 石原洋 横手町 白井栄三郎 亀里町 竜門 三輪益男 亀里町 阿内宿 矢島時彦 亀里町 寺家 角田愷 亀里町 矢島久保田晴由 鶴光路町 島村太郎 新堀町 宮下信弥 下阿内町 深町 宇作力丸町 羽鳥まさ 徳丸町 井野秀司

4自治会合同で



船戸節子さん
朝倉町一丁目・48歳

朝倉町一丁目、二丁目、三丁目、四丁目合同で発行している「あさくらまち生涯学習だより」の編集に加わっています。町の様子が今まで以上に分かるようになりましたね。おかげでワープロもマスターしました。

「学習参観には大勢の親が来るのですが、学級や学年の懇談会になると、めっきりその数が減ってしまっています。やはり張り合いがありませんねえ……」という学校の先生の話をよく耳にします。先生も親も、お互いに十分話し合いたいという願いを持ちながらも、懇談会になると、うまくいってない例が多いようです。本市のPTA連合会では、

子育ての窓



カット・佐藤真知子

家庭とPTA

今年度の総会で、「どうしたらよりよい子供に育てていけるか」という課題に、より直接的にかかわる活動のみに事業を絞っていかうと確認し合いました。そして、そのための活動の一つとして、親と先生が一緒に活動する「親子活動」「学年・学級PTA活動」の充実を挙げました。学級懇談会を充実していくことはこの学年・学級PTA活動の基本であると思います。

ある学校の学年PTAでは我が家の子育てについて親が積極的に問題提供をしたり、話し合いの主題やその内容を

今年度の総会で、「どうしたらよりよい子供に育てていけるか」という課題に、より直接的にかかわる活動のみに事業を絞っていかうと確認し合いました。そして、そのための活動の一つとして、親と先生が一緒に活動する「親子活動」「学年・学級PTA活動」の充実を挙げました。学級懇談会を充実していくことはこの学年・学級PTA活動の基本であると思います。

ある学校の学年PTAでは我が家の子育てについて親が積極的に問題提供をしたり、話し合いの主題やその内容を

手話を通じ 触れ合いを



テーマは「手話の必要性」

聴覚障害者との触れ合いを深めることをねらいにした手話講習会が、先月十九日、心身障害者福祉会館を会場に開講しました。この講習会には、小学生からお年寄りまで約百人が参加して、手話についての知識や技術の習得などを中心に学んでいます。学習日は毎週金曜の夜間が当てられ、十一月十七日まで二十五回を予定。手話を介しての触れ合いを目指して、仲間の輪が広がっています。

家庭園芸の 基礎を学ぶ



専門教諭が実習を交えて指導

勢多農林高校では、「やさしい家庭園芸」をテーマにした学校開放講座を、五月二十日から十二月二十日まで十回シリーズで行っています。同高校の教諭の指導で、「春野菜の栽培と管理」、「果樹の剪定（せんてい）」の基礎、「洋ランの秋冬の管理」などの内容を予定。果実の袋掛けの学習では、同高校の農場に五十人近くの参加者が向かい、袋掛けの作業をかわるがわる行いました。

町で発行されている情報紙			
自治会名	情報紙名	発行回数	創刊年月
岩神町三丁目	岩 寿 会 報	年2回	昭和63年7月
岩神町四丁目	ニ ュ ー ス 岩 神 町 四 丁 目	隔 月	〃 59年8月
平和町二丁目	平 和 二 だ よ り	隔 月	平成元年1月
国領町一丁目	国領町一丁目学習だより	年4回	昭和63年9月
国領町二丁目	国領町二丁目学習だより	毎 月	〃 56年6月
文京町一丁目	文 一 回 覧	毎 月	9年前ぐらい
文京町二丁目	〇月中の自治会行事予定	毎 月	昭和60年4月
文京町三丁目	文 三 だ よ り	毎 月	〃 58年3月
第一天川町	第一あまがわひろば	検討中	平成元年5月
南町三丁目	南 三 だ よ り	年3回	昭和63年4月
東 善 町	し み づ が わ	年4回	〃 63年10月
山王町一丁目	自 治 会 だ よ り	毎 月	〃 56年4月
朝倉町一丁目	あさくら町生涯学習だより	年1回	平成元年3月
朝倉町二丁目	生涯学習だより	年2回	〃 元年3月
下 川 町	広 報 ふ れ あ い	隔 月	昭和57年7月
勝 沢 町	わたしたちの勝沢	毎 月	〃 62年1月
幸 塚 町	町 報 こ う づ か	年3〜4回	〃 63年3月
下 沖 町	下 沖 広 報	毎 月	〃 62年4月
西 片 貝 町	西 片 貝 町 だ よ り	毎 月	〃 62年6月
上 泉 町	上 泉 町 だ よ り	年2回	〃 50年4月
堤 町 北 区	北 区 自 治 会 報	毎 月	〃 48年4月
前 箱 田 町	の ゑ み	3か月に1回	〃 63年6月
大 利 根 町	生涯学習ニュース	隔 月	〃 62年6月
下 新 田 町 南	自 治 会 ひ ろ ば	隔 月	〃 61年4月
光 が 丘 町	な か ま	不定期	〃 62年3月
朝 日 が 丘 町	あ さ ひ	不定期	〃 63年2月
小 相 木 町	小 相 木	不定期	〃 63年6月
新 前 橋 町	しんまえばしだより	年4回	〃 63年5月
江 田 町	生涯学習だより	不定期	〃 62年8月
元 総 社 町 78	い な ば	隔 月	〃 43年4月
石 倉 町 中 部	学 習 い し く ら	不定期	〃 63年4月
総社町総社集島	す が ら す	毎 月	〃 62年3月
総社町総社鍛冶町	かじ町生涯学習だより	不定期	平成元年5月
総社町総社大屋敷	三 て こ ば や し	年2回	昭和62年4月
総社町総社栗島	生 き が い	毎 月	〃 62年6月
総社町植野立石	立 石 だ よ り	不定期	〃 63年4月
総社町高井	た か い	不定期	〃 62年9月
総社町植野	自 治 会 だ よ り	不定期	〃 62年4月
上 小 出 町	糸 ぐ る ま り	隔 月	〃 63年4月
下 小 出 町	町 だ よ り	年2回	〃 59年4月
龍 蔵 寺 町	ニ ュ ー ス 生 涯 学 習	隔 月	〃 63年8月
荒 牧 町	荒 牧 町 だ よ り	不定期	〃 58年4月
天川大島町本町	並 木 だ よ り	毎 月	〃 50年6月
天川大島町原町	わ が ま ち	隔 月	〃 56年5月
駒 形 町	駒 形 町 だ よ り	毎 月	〃 56年8月
西 大 室 町	道 く さ い	毎 月	〃 62年7月
飯 土 井 町	い ど い	隔 月	〃 63年1月
二 之 宮 町	二之宮町生涯学習だより	不定期	〃 63年1月
筑 井 町	う つ ぼ い	毎 月	〃 62年5月
上 増 田 町	かみすだまちだより	不定期	〃 63年5月

盛んです

住民の手による



編集委員による打ち合わせ会にも熱が入ります(前箱田町)

町のボランティアが取材や紙面づくりを
「退職記念にと娘からのプレゼントのワープロで、前箱田町のぞみ」の紙面づくりを一手に引き受けてます」と田中恵知三さん(前箱田町)。「私の書いた館報きよさと」をみんなが読んでくれるんだと思うと徹夜でもやっちゃいます」と編集委員の本暮米代さん(上青梨子町)。

このように取材や編集などの紙面づくりは、町のボランティアによって支えられているところが多いです。体裁もオフセット印刷やワープロ、手書きなどさまざま。だからこそ温かみと親しみがあるといえます。

「昔の駒形」
今のように高島町も桃井町もなく、上陽村方面への道といえば足袋屋横丁と新駒形駅への道は、床屋横丁か火の見やぐらのあった亀井うどん屋と井田豆腐屋の間から一丁目方面が主要道

余暇活用や趣味、専門知識習得などだけが生涯学習の世界ではありません。この最近盛んになってきたミニコミ紙活動が見事に見本を示していると思いませんか。一人一人が自分自身の充実のためにというだけでなく同時にコミュニケーションづくりや地域づくりにも参画していく。

このような地道な活動が各地

一段と広がり
深まる市民の生涯学習活動

駒形町だよりから
路だったのです。叶屋と柿崎屋と近江屋と三軒の造り酒屋があつて。店先には大きな縁台があつて、大八車や馬車で荷物を運ぶ人たちが冷奴(やつこ)で一杯飲んでいるのをよく見かけました。

(駒形町・山崎千代子)

学びのページは年四回の掲載です。生涯学習についてのお問い合わせは社会教育課内線4025へ。



今、4号準備中
近江 紀さん
平和町二丁目・64歳
今、「平和二だより」第4号の準備中です。「身近な話題なのでとても親しみがある」との励ましもいただきました。生涯学習推進委員会の6人が、力を合わせてやっています。みんな息の合ったメンバーなんですよ。



楽しい編集会議
編集委員は5人で、うち女性は2人です。最初は年4回発行の予定でしたがたくさんの方が寄せられて、毎月発行になりました。うれしい悲鳴です。月1回の編集会議は楽しいひと時ですね。

西大室町・44歳



緑地帯に苗木を植樹
花いっぱい運動の一環として町内の東西堀わきの緑地帯に桜

★総社町高井
富田町のいきいき健康教室

奨励員だより
の苗木六十本をこのほど植樹しました。植樹は関係者約三十人が行い、一時間ほどで完了。

★日輪寺町
コースを通して交流
勢多郡北橋村のコースグルーブとの歌を通じた交歓会を再び開催「春の小川」、「通りやんせ」などを一緒に歌い、交流を深めました。

★永明地区
三町合同で映画上映
女屋町と小島町と上大島町三町合同による「交通安全と家庭教育を考える映画会」が、先月七日に開かれ、約二百人の親子連れなどが参加しました。

●総社地区
総社町総社集島 持木敏郎 総

●元総社地区
元総社町第一 飯島猛 元総社町第二 山口藤雄 元総社町第三 登坂二郎 元総社町第四 都木節章 元総社町78 大井壽雄 大友町 岡美次 石倉町上 石倉 斎藤辰男 石倉町中部 藤生錦二 鳥羽町東部 小野里

●東地区
東箱田後家町 石坂正雄 西箱田町 高橋達夫 前箱田町 玉田福司 川曲町 小嶋久雄 稲荷新田町 高橋友重 大和根町 関上悦子 下新田町 南島田早苗 下新田町 大堀豊 上新田町 近藤俊男 光が丘町 田村菊枝 朝日が丘町 本郷友三 小相木町 飯野千枝子 古市町 久江恒夫 新前橋町 宮内博久 江田町 小野里典

●南地区
北代田町 藤井保美 下小出町 奥野玄之吉 上小出町 栗原繁 荒牧町 養田光男 日輪寺町 関佐園次 田口町 下田初次 川原町 吉田文枝

●清里地区
池端町 木暮金一 上青梨子町 井上幾雄 青梨子町 田村正年 青梨子町 前原 桜井隆 清野町 間仁田久江

●永明地区
天川大島町本町 水野文一 駒形町 金子英光

●城南地区
泉沢町 茂木真太郎 西大室町 島田兼之 新井町 栗原幸治 今井町 齊藤卓治 筑井町 井田清夫 上増田町 田尾嘉正 下増田町 平野計

●芳賀地区
鳥取町 加藤校太郎 金丸町 小林七郎

●桂置地区
西片貝町 坂入雷太郎 萱野団地 平田周作

●東地区
東箱田後家町 石坂正雄 西箱田町 高橋達夫 前箱田町 玉田福司 川曲町 小嶋久雄 稲荷新田町 高橋友重 大和根町 関上悦子 下新田町 南島田早苗 下新田町 大堀豊 上新田町 近藤俊男 光が丘町 田村菊枝 朝日が丘町 本郷友三 小相木町 飯野千枝子 古市町 久江恒夫 新前橋町 宮内博久 江田町 小野里典

●南地区
北代田町 藤井保美 下小出町 奥野玄之吉 上小出町 栗原繁 荒牧町 養田光男 日輪寺町 関佐園次 田口町 下田初次 川原町 吉田文枝

●清里地区
池端町 木暮金一 上青梨子町 井上幾雄 青梨子町 田村正年 青梨子町 前原 桜井隆 清野町 間仁田久江

●永明地区
天川大島町本町 水野文一 駒形町 金子英光

●城南地区
泉沢町 茂木真太郎 西大室町 島田兼之 新井町 栗原幸治 今井町 齊藤卓治 筑井町 井田清夫 上増田町 田尾嘉正 下増田町 平野計

(2面から続く)
下川町 北村安恵
●芳賀地区
鳥取町 加藤校太郎 金丸町 小林七郎

●桂置地区
西片貝町 坂入雷太郎 萱野団地 平田周作

●東地区
東箱田後家町 石坂正雄 西箱田町 高橋達夫 前箱田町 玉田福司 川曲町 小嶋久雄 稲荷新田町 高橋友重 大和根町 関上悦子 下新田町 南島田早苗 下新田町 大堀豊 上新田町 近藤俊男 光が丘町 田村菊枝 朝日が丘町 本郷友三 小相木町 飯野千枝子 古市町 久江恒夫 新前橋町 宮内博久 江田町 小野里典

●南地区
北代田町 藤井保美 下小出町 奥野玄之吉 上小出町 栗原繁 荒牧町 養田光男 日輪寺町 関佐園次 田口町 下田初次 川原町 吉田文枝

●清里地区
池端町 木暮金一 上青梨子町 井上幾雄 青梨子町 田村正年 青梨子町 前原 桜井隆 清野町 間仁田久江

●永明地区
天川大島町本町 水野文一 駒形町 金子英光

●城南地区
泉沢町 茂木真太郎 西大室町 島田兼之 新井町 栗原幸治 今井町 齊藤卓治 筑井町 井田清夫 上増田町 田尾嘉正 下増田町 平野計

5月23日の奨励員委嘱式



▶クリーン前橋で敷島公園を清掃(4月29日)

創立10周年

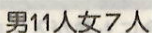
大きな成果の上に
新たな歩みを

“すばらしい前橋”市民活動協議会は、昭和五十四年により

住みいまちをつくろうと設立されました。十周年の大きな節目を迎えた先月二十四日の総会には、会員ら約五百人が出席。功労者の表彰も行われました。表彰を受けたのは、四百六十二の個人と団体。功労者を代表して、自治会推薦の磯貝甚八さん（六）住吉町一丁目、構成団体推薦の笹岡計子さん（四）鶴光路町）と部会推薦で駅前通り

10日間アメリカへ

中学生18人を海外派遣



中学生を海外へ派遣——。新規事業として中学生の海外研修を行います。

期間は八月十六日(水)から二十五日(金)までの十日間。研修先は

結団式の後、藤嶋市長を囲んで

アメリカ合衆国サンフランシスコ市です。アメリカ人家庭にホームステイしながら、英語研修や青少年団体との交流や施設見学したりします。

今月八日に海外派遣の結団式が行われ、一回目の事前研修も実施されました。派遣される生徒は次の各市立中学校から推薦された十八人です。

——敬称略——

福島篤史(一中) 遠藤由紀(二)

心がけよう

きれいな選挙

私たちの大切な代表は、お金のかからないきれいな選挙で選ばれるべきものです。「贈らない」「求めない」「受け取らない」をモットーに

中) 粟林良多(三中) 小屋賀子(四中) 高草木達(五中) 岩淵智子あゆみ(六中) 柳沢和良(七中) 小鮒安規(春日中) 蜂巣哲正(広瀬中) 松津祐子(桂賀中) 今井聡(芳賀中) 村山充隆(元総社中) 神宮政弘(東中) 星野彰良(箱田中) 中野英子(南橘中) 谷井亜矢 鎌倉中) 須藤順子(木瀬中) 黛貴信(荒砥中) ○：お問い合わせは青少年課(内線4042へ)。

トーに、日ごろから明るく正しい選挙を心がけましょう。

なお、七月下旬に参議院選挙が予定されています。棄権しないで、必ず投票しましょう。

○：お問い合わせは選挙管理委員会(内線3621へ)。



石関徳太郎さん
79歳
目・無職・
(南町四丁
ないしね。

昭和五十年から毎日のように町内の公園や街路樹を手入れしています。自分たちが住んでいる町だもの、みんなできれいにしたいな。体を動かして町きれいに

とも多いですよ。
目・ガイドヘル。

小杉ス の方から教
えられるこ
(文京町一丁
ハー・67歳)

温かい心を
常に持って

温かい心で
接すること
が大切です

ミさん

は。章孝哲

伝いをしています。相手の気持ちになつて

十年前から視覚障害者のお手

がいいんじゃないですか。なんでもスポーツは健康にいいし、友達の輪も広がりますよ。(千代田町二丁目・米穀商・53歳)

星空ハイク
に毎回参加

伊藤正美さん

星空ハイクには第一回から毎回参加しています。自分の足で歩くっていうのが

みんなで活動
よりよいまちに

商交会(手塚邦夫会長)が壇上で市長から感謝状を受けました。

今後市民のみなさんと力を合わせて、四つの活動①美しく清潔なまちづくり②スポーツを

よう④まちの安全を守ろう——を推進して“すばらしい前橋”を築いていきましよう。

なお、十周年の記念事業として、先月「市民ふれあいウオー

れあいコンサート」が予定されています。

○：お問い合わせは、同協議会事務局（広報課内） ☎内線3524へ。

民活動協議会では、創立十周年の記念事業としてウオークとコンサートを計画しました。

「市民ふれあいウォーク」は、先月十四日に実施。新緑の下、大勢の市民が前橋駅から敷島公園

記念事業

ウォークやコンサート

まで歩きました。数島公園で「市民へいコンサート」を盟また、恒例の「赤城空ハイク」も第十回えます。一層充実しにするため準備していますので、楽しんでください。

市政スポット

PTAが広報づくりを学ぶ

会員に親しまれるPTA広報を目指して——。このほど中央公民館で開かれた市PTA連合会の広報研修会には、各学校の広報部員ら300人が参加。広報紙づくりの基本について、熱心に学びました。

ガイドプランが承認
本市の都市景観ガイドプランが、先月三十日付けで国の承認

ホタルに大勢の市民
夏の夜に飛び交う美しい光の
乱舞——。今、さちの池はホタル
観賞のピーク。連日大勢の市
民の目を楽しませてくれます。
見ごろは来月上旬まで。

☆
活力と魅力ある総合機能都市
づくりを目指した「第四次前橋
市総合計画・基本構想」が、今
月十二日の市議会で決まりまし
た。詳しくは次号で紹介。

☆
四次総合計画決まる

ほとスタート。幅広い年齢層の人たちが参加しています。

今年度の学びの事業が始まりました。成人学校(写真は料理教室)や国際セミナーも、この

橋梁

☆ ———— 美が評価されたものです。

成人学校など始まる

まえ
ば
し

口住宅地区改良事業」が先月、
全国市街地再開発協会から表彰
を受けました。事業経過や景観

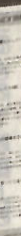


Figure 1 shows the typical morphology of the polymer film. The film is composed of many small, irregularly shaped particles, which are distributed throughout the matrix. The particles are generally smaller than 1 μm, and their size distribution is relatively narrow. The morphology suggests a phase-separated structure, where the polymer chains are aggregated into distinct domains. This is consistent with the observed changes in the IR spectrum, which indicate the presence of specific functional groups within the polymer structure.

☆
駅南口再開発が表彰

を受けました。このガイドブックの概要パンフレットを都市再開発課で配布しています。



今年も利根川河畔で華やかに

花火大会
8月15日

夜空の大輪 あなたの手で

真夏の夜の風物詩として市民のみなさんに親しまれている前橋花火大会は、今年も八月十五日(火)午後七時から九時まで、利根川河畔(大渡橋南西河川緑地)で開催されます。(雨天順延)

花火大会実施委員会では、各企業をはじめ広く市民のみなさんから協賛をいただき、より一層盛大な花火大会にしたいと準備を進めています。

打ち上げ花火の協賛価格については、多くのおみなさんからの協賛いただけるよう上表のとおりになっています。打ち上げを希望する個人・団体・企業は、六月二十日(火)までに、前橋花火大会実施委員会(商業観光課内線3603または商工会議所内線345111)へ申し込んでください。

打ち上げ花火の協賛価格	
種類	価格(円)
ア 合同打ち	10,000
イ 7号玉2発	30,000
ウ 5号早打ち5発	38,000
エ 4号早打ち10発	49,000
オ 4号5号7号5発打ち	51,000
カ 5号早打ち10発	76,000
キ 7号玉6発	90,000
ク 4号5号早打ち20発	125,000
ケ スターメインA	150,000
コ スターメインB	200,000
サ スターメインC	250,000
シ スターメインA	300,000
ス 10号玉10発	330,000
セ スターメインB	400,000
ソ スターメインC	500,000
タ スーパースターメイン	600,000
チ 空中ナイアガラ	600,000以上
ツ 虹のナイアガラ	700,000以上
テ 仕掛け	700,000以上

※「ア 合同打ち」はまとめて大きな花火として打ち上げる予定。

市街化全域が「監視区域」に

300m²以上の土地取引は届出



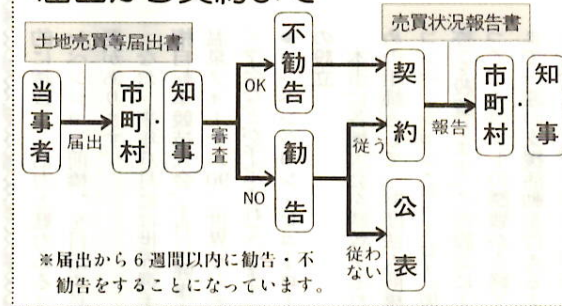
▲市街地南部を望む

今月15日から5年間

地価の高騰は、固定資産税の上昇、地代の上昇、住宅地等の取得難など直接市民生活に弊害を及ぼします。国土利用計画法

地価高騰に歯止めを——。国土利用計画法に基づいて本市の市街化区域内全域の土地が「監視区域」の指定を受けました。これによって、市街化区域内の三百平方メートル以上の土地取引を引き進める場合には、届出が必要となりました。期間は今年十五日から五年間です。

届出から契約まで



本市では昨年十一月一日に、地価上昇の著しい中心商業地や前橋駅、新前橋駅周辺の商業地を「監視区域」に指定。しかし、区域外の住宅地などにも地価の高騰が及んでいるため、市街化区域の全域を「監視区域」に指定することになりました。

本県では今回、本市のほか高崎市と多野郡新町の市街化区域全域も「監視区域」の指定を受けました。本市関係は次のとおりです。

期間 6月15日(火)～平成6年6月14日(火)の五年間 届出対象面積 三百平方メートル以上 監視区域の範囲 都市計画法でいう「市街化区域」の全域 面積 四千三百五十七ヘクタール

まえばしの水

お中元や非常用にどうぞ

市観光協会では、水の街「健康都市・まえばしの水」を販売しています。夏を迎えて



なお、全国各地への配送も行っています。また、市内の一部デパートやスーパーでも取り扱っています。

価格 一本七十円、七本入り六百五十円(化粧箱含む)、三十本入り二千二百円 販売場所 市観光協会(市役所6階商業観光課内線3603、商工会議所内線345111)へ

監視区域

土地の投機的取り引きや地価高騰を抑えるため、国土利用計画法を改正。知事は地価が急激に上昇または上昇するおそれのある区域を、期間を定めて「監視区域」に指定し、届出対象面積を引き下げることができるようにしました。

届出に対する指導など

届出書に記載された価格と利用目的について審査します。その価格が地価公示価格等と比べて著しく高かったり、利用目的が用途地域等の規制に合わない場合は、まず「行政指導」を行います。

届出の件数

監視区域内の届出件数は、昨年十一月から今年五月までに十三件ありました。監視区域が広がることによって、その区域内の届出件数は年間五百件近くになると予想されます。

国土利用計画法について

国土利用計画法は、都市計画課内線3903へ。

楽しい散策とマス釣り大会

平和町二丁目



平和町二丁目
四日、歩け歩け釣り大会が、行われました。主催は同町子供育成会。今年で十二回を数えます。

この日は午前八時三十分、三三三をスタート。目的地は敷島公園釣り堀池で約二・五キロを歩きます。子供たちのほか、親や一般五十五人も参加しました。

釣り堀池には九時十分に着。池に放されたマスを

ふみせスケッチ



水道資料館
柴崎 定吉 70
(三俣町一丁目)

ふれあいの広場に参加して

先月、元総社地区で「ふれあいの広場」が開かれました。参加した子供たちの感想が寄せられましたので、紹介します。

私は総合司会をしました。ちょっと緊張して声がふるえてしまいましたが、とても大変でしたが、思いに残る楽しい一日でした。

新井啓子(元総社小) 司会をするのは今までに何度かありましたが、今回は前橋全体の大きな行事だったので少

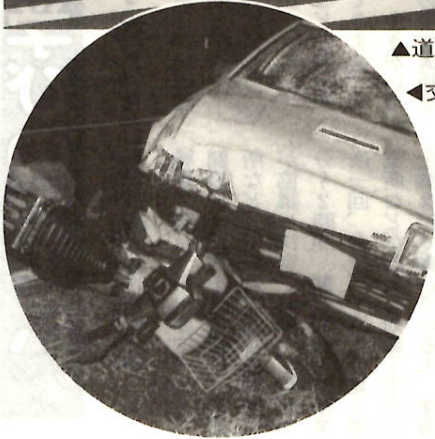
一斉に釣り始めます。慣れない手つきでえさを付けたらこわわわと声を出してしまいました。この後、マスや焼きそばのこきりや舌鼓を打ち、全員が満腹して家路に向かいました。

「今の子供たちは釣りをする機会がありません。毎年、来年はお年寄りにも呼びかけて町の大きな行事にしたいです。」と子供育成会長の小沢隆さん(西)は話しています。

市役所は、〒371 前橋市大手町二丁目12-1 ☎24-1111です。



▲道路を渡る時は横断歩道を
▲交通事故は悲惨なもの



夏の交通安全運動

7月1日
～10日

暴走運転はやめよう

「みんなで築こう群馬の交通安全」をスローガンに、七月一日(日)から十日(月)まで「夏の県民交通安全運動」が実施されます。若者の暴走運転をお互いに注意し合うとともに、交通事故を起こさないよう遭わないように注意しましょう。

□若者の暴走運転の防止
心ない若者の深夜の夜遊びや暴走による騒音のため、市民が

大変迷惑をしています。次のことを注意しましょう。
①未成年者の深夜の外出をやめさせる②不整備車や改造車には乗らない、乗らせない③騒音に気を配り、思いやりのある運転を心がける。
□子供と高齢者の交通事故防止
相変わらず歩行者や自転車利用者が被害者になる事故が後を

事業所などの調査

サービス基本調査と事業所統計調査を七月一日現在で行います。今月下旬から調査員が市内二千八百の事業所を訪問します。ご協力をお願いします。

サービス基本調査は、サービス事業所の事業活動の実態を調査し、産業・従業者規模別の分布状況と活動の実態を明らかにします。事業所統計調査は、事業所の新設・廃業等の異動状況を調査し、事業所の変動状況を明らかにします。



市内の2,800の事業所を調査

夏季運転資金融資

融資額は七百万円以内、期間は五か月以内、利率は年三・八

アドバイザーを派遣

工業関係事業所の経営の合理化を図るため、経営アドバイザーの派遣を行っています。経営の実態を客観的に調査・分析し、問題点を具体的に指摘・助言します。企業機密は絶対に漏れることはありません。経営充実の

中小企業特別相談

県では、弁護士による中小企業特別労働相談員制度を新設しました。相談員は毎月第二週から第四週の水・金曜です。ご利用の場合は中小企業労働相談所 ☎2744へ。

%以内。取扱期間は九月末日まで(融資枠がいっぱいになりしだい締め切り)。対象は中小企業。申し込みは市内の金融機関(都市銀行、農協などを除く)へ。

○お問い合わせは商業観光課 ☎3607へ。
☎5111へ

国民年金だより

サラリーマンの奥さん 手続きお早めに

サラリーマンの奥さんー厚生年金、共済組合の加入者に扶養されている配偶者で二十歳以上六十歳未満の人は、第三号被保険者として国民年金に加入することになります。加入手

ストップ・ザ・煙害 麦わら 燃やさないで

今年もまた麦刈りのシーズンを迎えました。毎年この時期には麦わらを燃やす時に発生する煙により「煙い」「目が痛い」「子供が外で遊べない」などの苦情が殺到しています。また病人や乳幼児のいる家庭

基本的なマナーです。車に乗る人にはシートベルトを締めての一声を掛けましょう。
5月までに死者13人
今年五月末までの市内の交通事故死者は十三人、昨年比べて四人増となっています。死亡事故内容は①歩行中②自転車

続きは、ご主人の勤務先で第三号被保険者該当届に証明を受けてから、国保年金課へ届け出て下さい。該当者でまだ手続きをしていない人は早めに届け出て下さい。

届けてお忘れり、届け出が遅れると保険料の未納期間が発生します。年金額を計算する上で不利となり、将来年金が受けられなくなることもあり

日常生活での悩みなど 身近な障害者相談員に

市では、身体障害者や精神障害者の日常生活と福祉の向上のため、相談員を委嘱しています。今年度の相談員は下表(敬称略)のみなさんです。お気軽にご相談ください。
□7月の相談 <肢体・視覚> 7月9日(日)午後1時30分～4時、心身障害者福祉会館(朝日町三丁目 ☎4682)
○お問い合わせは福祉課 ☎3135へ。

身体障害者・精神薄弱者相談員

	氏名	住所	電話	担当地区
身体障害者相談員	鹿沼 一巳	荒子町709	☎2023	全域
	丸山 順吉	大利根町二丁目36-6	☎8317	東・元 総社
	茂木 安衛	関根町259	☎5190	南 橋
	丸山 利房	駒形町863-2	☎2058	駒形・永 明
	諸岡 源一	西善町583-1	☎3682	上川淵・下川淵
	石井喜久衛	野中町262	☎2674	永 明
	沢沢 克巳	西大室町835	☎1222	城 南
	小林 和義	若宮町三丁目9-9	☎4852	全 域
	佐々木洋之	本町三丁目13-10	☎1003	本庁管内
	白田寿太郎	紅雲町一丁目14-5	☎7920	本庁管内
視覚・聴覚・内部	田口喜久治	大手町二丁目16-22	☎5869	全 域
	梅津 武夫	文京町二丁目23-9	☎2106	全 域
	新井 精孝	城東町二丁目2-10	☎0372	全 域
	飯島 豊	朝日町四丁目9-23-3-101	☎4378	全 域
	宇敷 専三	関根町188	☎1875	全 域
	高橋 正	横手町328	☎0836	全 域
	村田よし子	城東町四丁目21-2	☎5748	全 域
	近藤 喜七	昭和町二丁目3-2	☎4623	全 域
	岩崎 清隆	川曲町463-3	☎7683	全 域
	橋爪 璋次	敷島町247-6	☎7495	全 域
精神薄弱者相談員	金古 道子	日吉町三丁目14-6	☎1131	全 域
	石坂 英子	広瀬町二丁目41-2	☎8534	全 域

2人目の子供から 児童手当を支給



中央児童遊園で楽しく遊ぶ

二人目の子供から児童手当を支給します。該当者で請求していない人は、早め手続きをしてください。なお、公務員は勤務先へ請求してください。
○お問い合わせは児童家庭課 ☎3154へ。

野外で楽しく

おもちゃの図書館

楽しいおもちゃがいっぱい。おもちゃの図書館が三周年を迎えたのを記念して野外で開館します。障害のある子もいない子もみんなで遊べます。日時 6月24日(土)午後1時～3時 会場 老人福祉センターグレートボールコート(雨天の場合は同体育館) 問い合わせ 社会福祉協議会 ☎6033

平成元年度所得制限限度額	(昭和63年分)	(昭和64年分)
扶養親族などの人数	児童手当(国民年金加入者・年金未加入者)	特例給付(厚生年金加入者)
0人	1,467,000円	3,515,000円
1人	1,767,000円	3,815,000円
2人	2,067,000円	4,115,000円
3人	2,367,000円	4,415,000円
4人以上	扶養親族1人増すごとに30万円加算	

※社会保険料相当分80,000円加算済み

けんこうガイド

健康相談

7月6日(木)午前・午後	芳賀公民館
7月10日(月)	南橋公民館
7月12日(水)	中央公民館
7月18日(火)	下川淵公民館
7月19日(水)	若宮町二丁目公民館
7月19日(水)	文京町三丁目自治会館
7月19日(水)	母子健康センター
7月20日(木)	敷島公会堂
7月21日(金)	総社公民館
7月25日(火)	元総社公民館

赤ちゃん・いきいき健康相談

午前＝午前10時～正午 午後＝午後1時～3時
対象＝赤ちゃん・乳幼児と妊産婦 いきいき40歳以上の人

健康診査

■3か月児健診	7月12日・19日・26日(木)午前9時30分	保健所
■股関節脱臼健診	7月13日(木)午後2時	児童文化センター
■7か月児健診	7月7日・21日(金)午後2時	医療センター
■1歳6か月児健診	7月14日・28日(金)午後1時45分	医療センター
■3歳児健診	7月13日・20日・27日(木)午後2時	保健所
■虫歯予防教室	7月6日(木)午後1時30分	保健所

※各健診の受け付けは開始時間のおおむね30分前から行います。



講習会・学級

■離乳食講習会	7月12日(木)午前9時30分～11時30分	中央公民館
■母親学級	7月12日(木)午後1時30分～3時30分	中央公民館
■父親学級	7月12日(木)午後1時30分～3時30分	中央公民館
■妊婦健康教室	7月4日・11日・18日(木)	保健所
■乳がん予防健康教室	7月4日(木)午後1時30分～3時	元総社公民館

※乳幼児の相談・健診などの時は母子健康手帳をご持参ください。

献血にご協力を
6月24日(土)前橋駅北口、午前10時30分～午後4時 7月1日(土)上毛シルクプラザ六供店 午前10時30分～午後4時

高齢者精神保健相談
7月7日(金)午後1時30分～3時30分、保健所。予約を同所 ☎7721へ。



「どうしたの、おなかを診てみようね」

●受給者証の取り扱い
①古い受給者証は七月一日以降に国保年金課または城南支所・各出張所へお返しください。②医療機関で診療を受ける時は、医療保険証と一緒に受給者証も必ず窓口へ提出してください。提示しない時は自己負担分を払わなければなりません。③住所、氏名、加入している医療保険などに変更があった時は、十四日以内に届出してください。

老人医療費
七十歳以上の人(六十五歳以上七十歳未満の寝たきりなどの状態にあると認定を受けた人を除く)で、社会保険(社会保険事務所、健康保険組合、共済組合等)や国民健康保険組合に加入し、老人保健法による医療を受けた人に対しては医療費の通知をします。今月下旬に受診者へ直接郵送します。

70歳以上の老人
2月診療分を通知
①転入した時は保険証と印鑑を持参②市外へ転出する時③加入している医療保険証が変わった時(病院等にも届け出を、健康手帳(医療受給者証)と医療保険証、印鑑を持参④他人の過失で交通事故に遭い、負傷したり病気になる時
○：お問い合わせは国保年金課 ☎内線3253へ。

今月から限度額が改定

高額療養費

国民健康保険に加入している人が、病院などで治療を受け、窓口で支払った一部負担金が高額になった場合、国保から「高額療養費」が支給されます。支給額は一部負担金から自己負担限度額を差し引いた額です。この高額療養費の自己負担限度額が、六月診療分から次のとおり引き上げられます。ご承知おください。

母子家庭や重度心身障害者(児)などの医療費(福祉医療費)受給者証は、六月三十日で有効期限が切れます。新しい受給者証は今月下旬に郵送します。七月一日からは、この受給者証を使用してください。有効期限は平成二年六月三十日までで一年ごとに更新します。

母子家庭や重度心身障害者(児)などの医療費(福祉医療費)受給者証は、六月三十日で有効期限が切れます。新しい受給者証は今月下旬に郵送します。七月一日からは、この受給者証を使用してください。有効期限は平成二年六月三十日までで一年ごとに更新します。

母子家庭や重度心身障害者(児)などの医療費(福祉医療費)受給者証は、六月三十日で有効期限が切れます。新しい受給者証は今月下旬に郵送します。七月一日からは、この受給者証を使用してください。有効期限は平成二年六月三十日までで一年ごとに更新します。

7月の日曜当番医表											
日	週	内科			外科			婦人科	耳鼻科	眼科	歯科
2	第一日曜	村山医院 表町1-13-17 21-4643 内児	嵯峨小児科医院 青柳町494 32-1188 児	北條内科小児科医院 駒形町833-38 66-6737	吉野医院 三俣町2-13-10 32-3333 内	二子山医院 朝倉町1-3-2 63-1331 脳外	小坂橋医院 上泉町354-2 61-2122 胃外	須藤産婦人科医院 住吉町2-5-20 31-4133	新前橋耳鼻咽喉科 古市町1-48-6 53-6170	山田眼科医院 西片貝町1-282-14 32-1213	日曜は 歯科医師会館 岩神町2-19-9 ☎32-2046
9	第二日曜	木村医院 平和町2-1-7 31-3070 内外	早川医院 文京町1-46-6 21-6324 内児	小島田診療所 小島田町7 61-0370 内児	茂木医院 三俣町1-46-17 32-1700 内	星野外科医院 平和町1-7-21 31-7138 内外	富沢病院 朝日町4-17-1 24-3955 整外	小原産婦人科医院 青柳町362 32-6314	高崎耳鼻咽喉科 田中病院 高崎市鍛冶町22 0273-22-2604	高崎眼科 高崎市栄町3 0273-22-5005	
16	第三日曜	松本内科医院 日吉町3-253-2 31-4728 内	尾内小児科医院 下川町15-2 65-4005 児	いしだ内科胃腸科医院 平和町1-6-4 34-4112 内胃	上毛病院 下大島町596-1 66-1482 内児	文京外科医院 文京町4-15-34 21-1280 外	柳田整形外科医院 昭和町3-16-9 34-3260 整	婦人科内科丸江医院 南町4-24-16 21-8310	橋爪耳鼻咽喉科 本町1-3-2 21-2745	高平眼科医院 千代田町5-14-4 31-3885	夜の緊急時に 夜間急病診療所 朝日町4-9-5 ☎43-5111 ・午後8時～ 午前0時 ・内科と小児科
23	第四日曜	あさ小児科医院 朝日町2-17-11 24-2484 児	堀内小児科医院 日吉町4-1-19 31-5348 内児	富沢内科小児科 石倉町2-7-4 51-4779 内児	老年病研究所 附属病院 大友町3-26-8 53-3311 内	朝日外科内科医院 朝倉町1-1-7 63-2718 内外	高橋整形外科医院 石倉町2-9-3 51-4633 整	道下産婦人科医院 平和町1-7-3 31-7821	深町耳鼻科 東口分院 高崎市栄町6-1 0273-23-2509	沼賀眼科医院 高崎市相生町4 0273-27-1270	
30	第五日曜	鶴谷医院 朝日町1-20-10 24-3052 内児	大塚内科医院 三俣町1-19-25 31-2399 内児	大根根内科 箱田町1220-1 52-1755 内	鈴木小児科医院 後閑町10-5 63-2967 児	中村外科医院 文京町1-33-18 21-3951 外整	狩野脳神経外科医院 上泉町698-3 69-5454 脳外整	中野産婦人科医院 国領町2-2-12 33-5588	矢部医院 大手町3-4-17 31-3524	前橋丸山眼科医院 南町3-30-7 23-5941	

市役所は、〒371 前橋市大手町二丁目12-1 ☎24-1111です。



題字・須藤敬子
数島小3年

「チャボ一つがい」南町二丁目・伊豆田徳助さんから神明幼稚園へ。

「ほうき百本」下細井町・長谷川元信さんから細井小へ。

「玉ヒバ九株」大和町二丁目・片貝高四郎さんから細井小へ。

「座敷ほうき十五本」西大室町・洪沢啓一さんから大室小へ。

「ぞうきん三百枚」桂賀地区婦人会（斎藤小夜子代表）から桂賀小・桂賀中・鎌倉中へ各百枚。

「交通安全ワッペン三千七百枚」富士銀行前橋支店、安田火災海上保険群馬支店、安田生命保険相互会社前橋支社、安田信託銀行前橋支店から小学校新入学児童へ。

「図書九百五十九冊」沖縄県沖縄市・上原清善さんから各小学校へ。

「ドラムセット一式」江木町・北爪伸明さんから桂賀中へ。

「縫いぐるみ二個」勢多郡富士見村・羽島忠男さんから養護学校へ。

「現金二万三千六百円」サンエブリー三保店（茂木義行代表）から身体障害者福祉のために。

「現金十九万二千五百円」NTT前橋支店（斎藤登代表）から身体障害者福祉のために。

「現金一万円」上小出町・秋葉賢寿さんから老人福祉のために。



周辺商店街協会の会長

目崎 種三さん(76)

朝日町四丁目18-5

ミステリー列車にご期待を

前橋周辺商店街連絡協議会が、七夕まつりに合わせて趣向を凝らしたイベントを計画している。同協議会の会長を

八年前から務める。
「おもしろい催しを考え合っただけです。そこでミステリー列車を走らせることにしました。期待してください」
行き先不明の列車に五百人を招待。その抽選会は歌謡ショーの中で。そして行き先を当てるクイズでは豪華賞品をプレゼント。詳しいことは本紙6月1日号6面に掲載。
「楽しい企画だということ、JRの協力をはじめてくださんの企業の協賛をいただき

ました。予定よりも内容がずつと豊かになりました」
同協議会は昭和五十年に結成。中心街を取り巻く五ブロック、五十五商店街で組織され、店舗数は約二千に上る。周辺「の抱えている問題を出し合い、魅力ある商店街づくりを取り組んできた」。
「店舗やイベントコンクールなども行っています。商店街ごとの新しい核づくり、共同駐車場の設置など今後の問題も多いですがね」
家具の製造・販売を営んでいた。以前、長いこと市議会



議員も。日本画を集めたり見たりするのが趣味。出かけることも好き、元気である。
商業の活性化——本市の重要課題の一つだ。
「いい意味で中心商店街と競い合って、ほかからのお客様を増やして、前橋の商圏拡大を図っていかねければならないと思いますね」

編集者
まえばし話

市政テレビ番組
はつらつタウンまえばし
群馬テレビ・毎月第4木曜
午後0時6分から約10分間
今月の放送は22日(木)です



大勢の女性が働いた製糸工場

残念ながら「糸のまち前橋」は本市の「過去の事項」になりつつある。しかし、製糸業が市制百年の「前半」を大きく支えた事実、もつと認識されてよいのではないだろうか。
(今回は「耕地整理」)

市制100年の「前半」支えた製糸業。

糸のまち——前橋。最盛期の製糸業を物語るものは、今、ほとんどない。が、かつて街には工場の煙突が林立し、明治、大正、昭和初期の前橋の経済を大きく支えていたのである。
生糸の取り引きから本格的な生産へ。江戸時代から前橋は生糸の集散地だった。幕末の横浜開港を機に貿易の花形となった生糸は、前橋の活性化と巨額な富を得た生糸商人を生み出す。先に見てきた「県庁誘致」や「市制の施行」は、こうした背景があつて実現したのである。
生糸取り引きの活気は、その生産を促進する。当時、生糸の生産は座繰りを用いた農家の副業的なものであった。そこに、明治維新で「緑（ろく）」を失った士族たちが、器械を導入した生糸の生産に本格的に取り組み、前橋の製糸業は盛んになっていった。
煙突が林立する本市の主産業に。明治も半ばになると製糸業は順調に発展し、本市の経済を左右する主産業となった。明治三十年ごろ群馬県が生糸生産は全国一、そのうち約三分の一は前橋が占めていた。遠く海外でも、日本生糸の代名詞として「マエバシ」が使われるほどだった。
大正期になると器械化・工場化が一層進み、広瀬川周辺には数多くの工場が立ち並び、林立した煙突からは煙が何本も棚引き、街は活気に満ちていった。女子労働者が1万人も。製糸工場の労働を担ったのは、県外出身者を含む若い女子労働者だった。ピーク時の昭和二年には、一万二千人に上る。当時の人口八万二千二人の約一五%に当たり、帰省時には臨時の特別列車が用意されたという。
製糸業に歴史的評価を。一市一産業のごとく栄えた製糸業も、昭和十年以降、戦時体制に組み込まれ輸出が激減する一方、人造繊維の登場もあって衰退の道をたどってゆく。



糸のまち